

ほんの少しの注意や行動が、生死を分けることがあります… 今一度 再確認を！

停止してしまった車両の運転手さんへのお願い

①歩き回らない

- ・事故などでやむを得ず停止した場合は本線・路肩を歩き回らないでください。
- ・高速道路は一般道とは違います！
同じ感覚での行動は絶対におやめください。



②後続車に対する安全措置

- ・後続車の運転者が、停止車両等に気付いているとは限りません。
- ・緊急事態に備え、停止表示器材（三角表示板等）・発炎筒は必ず積載し、
後続車両に対する安全措置を執ってください。



③避難と通報

- ・ガードレールの外側など安全な場所に待避したあと、
- ・110番・非常電話・道路緊急ダイヤル（#9910）などで通報を！



④本線上は 特に危険！速やかに路肩側へ

- ・故障や事故を起こしてしまった場合、速やかに車を路肩に移動させてください。
- ・移動が不可能な場合は、乗員全員、安全を確保しながら、路肩側へ避難。

運転中の皆さま（後続車）へのお願い

①危険予測

- ・停止車両を発見した時は、近くや陰に「人」がいる場合があります。
- ・常に「人」が出てくるかもしれないことを予測し、万一の危険に備えましょう！

②情報キャッチ

- ・道路の異常は 道路交通情報板・ハイウェイラジオ等で
情報提供を行います。
- ・「この先事故」「故障車あり」などの情報をキャッチしたら
速度を控えめに、十分注意して走行してください。



③渋滞末尾にご注意！～早めの休憩を～

- ・お盆、行楽シーズンなど交通混雑期には渋滞がしばしば発生します。
- ・渋滞を発見したら、早めのブレーキと、ハザードランプで
後方への注意喚起も忘れずに！



すべてのドライバーの皆さまへのお願い

- ・シートベルトは命綱！～すべての座席で着用しましょう～
全席シートベルト着用が義務となっています。
- ・高速道路等では後部座席もシートベルトを着用していない場合は
違反となり、運転者に違反点数1点が付されます！



H25 死亡事故の要因・事例紹介

死亡事故要因のキーワードは・・・

人と車の事故

停止車両

車外放出

人と車の事故 **10件/57件・11名/59名**

事故・故障の際に高速道路上を歩きまわり、人が後続車に轢かれてしまう痛ましい事故多発!

発生	道路	事故概要
H25.3	上信越道	故障（燃料切れ）のため路肩に停止していたところ、後続の車が脇見運転をしていたため追突。 <u>車の前方（路肩）で待機していたところ撥ねられ死亡。</u>
H25.6	関越道	事故により追越車線に停止し車の脇（走行車線側）に待機していたところ後続の車に撥ねられ死亡。

停止車両 **16件/57件・16名/59名**

事故・故障・渋滞の末尾などの停止車両に追突し、死亡事故に至る痛ましい事故多発!

発生	道路	事故概要
H25.9	東北道	事故により <u>路肩に停止していたところ</u> 、後続の車が居眠り運転をしていたため追突。停止していた車の車内で待機していた乗員3名が、車外に投げ出され内1名死亡。
H25.11	関越道	故障（パンク）のため <u>追越車線に停止していたところ</u> 、後続の車が追突。後続の運転手が死亡。

車外放出 **9件/57件・9名/59名**

シートベルトをせず、車外放出され、死亡事故に至る痛ましい事故多発!

発生	道路	事故概要
H25.5	東北道	ハンドル操作を誤ったため蛇行し、路肩防護柵に衝突。反動で横転し追越車線に停止。 <u>後部座席の乗員が衝突の反動で車外に投げ出され死亡。シートベルト非着用。</u>
H25.6	東北道	タイヤがバーストしたことにより車体が振れ蛇行、ハンドル操作を誤ったためスピンし路肩防護柵に衝突。反動で乗員4名が車外に投げ出され1名死亡。3名重傷。4名ともにシートベルト非着用。

※車外放出は死亡事故に直結。シートベルトをしていないと、交通事故致死率は、シートベルト着用時の約10倍に跳ね上がります。

※H25.12月末現在の死亡事故件数（NEXCO東日本調べ）